

国内クレジット認証委員会御中

審査結果概要書

平成 25 年 1 月 17 日

審査機関名 株式会社日本スマートエナジー

1. 排出削減事業の概要

排出削減事業名	野菜栽培ハウスにおけるバイオマス燃料温風機の導入（廃食油）
排出削減事業者名	株式会社四ツ郷農業生産組合
排出削減共同実施事業者名	一般社団法人低炭素投資促進機構
事業実施場所	株式会社四ツ郷農業生産組合 （新潟県新潟市西区四ツ郷屋字岩山 2 2 0 5 番地 1）
事業の概要	野菜栽培ハウスの暖房の熱源として化石燃料に代わり、バイオマス燃料である廃食油を使用する温風暖房機を導入することで地球温暖化対策の推進を図るものである。
排出削減量の計画	2012 年度：94 tCO ₂ /年 （事業実施期間合計 94 tCO ₂ ）
国内クレジット 認証期間	開始日 2012 年 11 月 1 日 終了予定日 2013 年 3 月 31 日
排出削減方法論	方法論番号 004-C 空調設備の新設

2. 審査結果

本事業は、排出削減事業の要件に適合している。

3. 実施した審査手続きの概要

審査手続きにより、以下の排出削減事業の認証の要件の妥当性を確認している。

要件	審査手続き
日本国内で実施されること	事業計画が日本国内で実施されていることを、事業サイトを訪問して確認した。 事業実施サイトの場所：株式会社四ツ郷農業生産組合 事業実施サイトの視察日付：平成 24 年 12 月 21 日（金）
追加性を有すること	1) 法的義務がないこと 本事業は、法的義務等の遵守のために計画されたものではなく、CO2 排出量の削減を目的として実施されたことを、事業者への質問等により確認した。 2) 設備が継続利用可能であること 本事業は設備新設の事業である。 3) 投資回収年数 本事業の投資回収年数については、純投資額にて算定しており、入手した根拠資料、質問及び検算により 9.3 年であることを確認した。投資回収年数計算の根拠データにつき、関連証憑と突合することにより正確性を確認している。 4) 追加性判断における定性要因 本排出削減事業者は、トマト栽培を行う農業生産組合であり、JGAP（食の安全や環境保全に取り組む農場に与えられる認証）の認証を取得するなど、農業の発展のため日々様々な取り組みを実践している。その折に関連事業者より、国内クレジット制度を活用することでさらなる環境 PR が期待できるとの紹介を受け、本事業の実施に至ったことを確認している。
自主行動計画に参加していない者により行われること	自主行動計画に参加していないことについては、排出削減事業者への質問、関係者への質問により、自主行動計画に参加していない事業者であることを確認した。
排出削減方法論に基づいて実施されること	本排出削減事業は、承認排出削減方法論 004-C に基づき排出削減量を計算しており、また、其々の方法論の適用条件を満たしていることを個別に確認している。

	<p>【方法論番号 004-C 空調設備の新設】</p> <p>適用条件 1 については、空調設備を新設する事業であることを、現地視察における目視により確認した。</p> <p>適用条件 2 については、バイオマスを燃料とする空調設備を新設する事業であることを現地審査での目視により確認している。</p> <p>適用条件 3 については、本削減事業では低温室効果冷媒を利用しないため、該当しない。</p> <p>2) その他、バウンダリーの設定、ベースラインの設定、リーケージの特定、排出削減量、モニタリングの方法が適切であることについて、それぞれ質問と関連証憑により確認している。ベースラインの設備効率の設定については、空調設備 3 台の設備効率より平均値を算出し、これを採用していることを確認した。</p>
--	--

上記の詳細については、別紙「排出削減事業の要件についての確認事項一覧」を参照すること。

4. 特記事項

特になし。

以上